

各位

株式会社安評センター

## 「LC-MS/MS 装置 Xevo TQ-XS」導入のお知らせ

トランスジェニックグループの株式会社安評センター（代表取締役社長：福永健司、静岡県磐田市）は、この度、LC-MS/MS 装置※<sup>1</sup>XevoTQ-XS（ウォーターズ社製）を導入いたしましたので、ここにお知らせいたします。

当社では、質量分析装置を用いて医薬品や農薬などの低分子から高分子まで幅広く分析できる体制を整えてまいりました。しかし近年、対象物質におけるより低濃度の測定を希望されるお客様からのお問い合わせが増えていることに加え、生体内の微量生理活性物質の測定が求められる傾向にあります。このため、最高感度での定量が可能な LC-MS/MS 装置 XevoTQ-XS の導入に踏み切りました。

今回導入した機器は、フロントに ACQUITY Premier システムを、検出器には Xevo TQ-XS を採用しています。ACQUITY Premier システムでは、金属との相互作用に起因するサンプルの非特異的吸着を低減させる新しいテクノロジーが超高速液体クロマトグラフに搭載されています。Xevo TQ-XS は、ウォーターズ社製の機器の中でも最高感度を誇るタンデム四重極型質量分析計であり、再現性が良好なため非常に低い濃度でも信頼性の高い定量が可能となります。イオン源には UniSpray™を採用し、イオン源やプローブを変更することなく幅広い範囲の化合物をイオン化できます。これらの仕様によって実現した超高感度が、神経伝達物質の定量や TK※<sup>2</sup>、PK※<sup>3</sup> のような試験において卓越したパフォーマンスを発揮いたします。

当社は、幅広い動物実験を実施できるノウハウをバックボーンとしながら、今回の Xevo TQ-XS の導入によって、対応可能な定量分析のフィールドを今まで以上に拡大し、さらに幅広いサービスの提供を開始いたします。

- ※<sup>1</sup> LC-MS/MS 分析過程を2段階（化合物を液体クロマトグラフィ（LC）によって分離し、分離された物質を質量分析装置（MS）によってイオン化する）で行い、高精度で分子を同定する装置。
- ※<sup>2</sup> TK Toxicokinetics：医薬品の開発における毒性試験の不可欠な構成要素として、あるいは特にデザインされた補助的試験として、全身的曝露を評価するために薬物動態データを得ること。
- ※<sup>3</sup> PK Pharmacokinetics：薬物（用法用量）が投与された後の生体内で吸収、分布、代謝、排泄という一連の過程を経た体内薬物濃度（量）の推移。



### 【株式会社安評センターについて】

多数の製薬企業・化学企業等からの基金をもとに1978年に設立された公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターが前身です。GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証施設において、科学性と信頼性に立脚した安全性評価を通じて人類の幸福に貢献することを使命と位置づけ、医薬品、食品、食品添加物、農薬、一般工業化学物質等の化学物質の安全性を評価するための各種試験研究を受託しています。

### お問い合わせ先

株式会社 安評センター 事業推進部  
〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2  
E-Mail：[contact@anpyo.co.jp](mailto:contact@anpyo.co.jp) URL：<https://www.anpyo.jp/>